



# 留学生と語り合う No. 77

## RKK ニュース (2019 年秋号)

NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

### 日本語の普及活動について

日本語支援Gスタッフ 布津基大

現在日本では少子高齢化で人口が減少しており、社会の担い手として国内で生活する外国人の数が増えており、更に政府は今後五年間で34万5000人の外国人を技能実習と言う名目で受け入れる事から、その人達が来日して来ます。又9月20日からラグビーワールドカップが日本で開催されて40万人の外国人がやって来ます。更に来年2020年には東京オリンピックが開催されます。今後外国人の数が急増する事から日本人と外国人との共生を如何に進めるかにかかっていると思うし、その為に日本語の普及は不可欠で、コミュニケーションの重要性が増すと思います。

私共は日本語普及の一環として日本語の教え方講習会を大学の講師の先生を招いて秋10月から5回、来年2月にブラッシュアップ講習会を3回、合計8回開催致します。

秋10月からの講習会では新しく大学のクラス単位の授業を再現して頂く様で授業を留学生をまじえて行います。私共の1対1の授業と比較して一長一短が有ると思いますが何か得るものが有ると思います。又、講習会では会員は当然のこととして、一般市民にも幅広く呼び掛け多くの方に参加して頂いています。その中には他のボランティアで活動している方で、自分のレベルアップの為、参加している方も多くいます。

私共には多くの留学生が日本語の修得及び日本人との交流、日本の文化の実習等の希望を持って登録して来ております。これ等の留学生との交流を希望する方には講習会終了後にRKKに加入して頂き、留学生とのマッチングを行っています。

来年2月にはブラッシュアップ講習会を3回行います。私共にとって、今後も多くのチューターと多くの留学生とが心の通った交流をして行く事は、車と言えば両輪であり、必要不可欠です。

### About Japanese language dissemination activities

Japanese language support staff Jindai Futsu

In Japan, the population is declining due to the declining birthrate and aging population. As a result, the number of foreigners is increasing as the backbone of society. The government is planning to accept 345,000 foreigners in the name of technical interns over the next five years. Now, about 400,000 foreigners come to Japan at the Rugby World Cup. Furthermore, the Tokyo Olympics will begin next year. Many foreigners are expected to visit Japan. As the number of foreigners will increase rapidly in the future, the realization of a symbiotic society between Japanese and foreigners has become the main problem. The spread of Japanese language education is indispensable for realizing this.

RKK invites teachers from the university to arrange a lecture course of 5 times classes starting in October for teaching the Japanese language, and also to prepare the brush-up course in February next year. In the course starting in October, we will newly arrange a university type class. I think this class has advantages and disadvantages compared to the RKK one-on-one class. Previously, many people participated in these courses after we called on the public. Some of them were taking actions as volunteers in another field for improving their skills.

RKK registered international students wish to acquire the Japanese language and practice Japanese culture. RKK membership is open to anyone who wants to be a tutor. After matching between students and new members, they will begin to interact together. In order for us to communicate in a heartfelt way with the international students, understanding each other is essential.

#### Please visit RKK Festival 2019 -

Date: Friday, 4th Nov. (Holiday)

Place: Kanagawa Kenmin Center, R301  
Program

9:30-12:30 Japanese Speech Contest -  
13:00-16:00 Culture Exchanges

Please see the last page of this news, and find a chance to know Japanese culture.

For details, click the URL, or scan the right code.

[http://rkk.world.cocacn.jp/pdf/RKK\\_Festival\\_2019.pdf](http://rkk.world.cocacn.jp/pdf/RKK_Festival_2019.pdf)



#### Information on RKK Tour Event No. 71

RKK 第71回見学会のご案内

Date: November 17, 2019 (Sun.)

Meeting: 11:00 a.m. at JR Tachikawa Station

Visiting Place: Showa Kinen Park

For details, click the URL, or scan the right code and find the above event.

Please register for participation.

<http://rkk.world.cocacn.jp/event/4f.html>



## 第24回日本語教え方講習会が始まる



10月6日(日)、「これから日本語教え方講習会を始めます」。司会者布津さんの第一声から講習会が始まりました。今日は、第1回目を担当される薄井先生が、講義形式と、RKK留学生1人を対象とする模擬授業の形式で行われました。2回目以降の講習会は、薄井先生と同様、横浜国立大学で日本語授業を担当されている3人の先生がリレー方式で担当されます。これで、受講生は多くの先生の教え方を学べることになります。

一方、受講生には、これからボランティアを始めるための第一歩として受講される方、今までの留学生への日本語支援の技量を向上させたい方など、みなさんそれぞれの目的意識を持って受講されています。

講習会は今年で24回目を迎えますが、今回も33人の方々の参加があり、ニーズが高いものになっています。このことは、講習会の開催準備を担当するわれわれにとっても大変嬉しいことです。日本語支援グループとしては、参加された方々のボランティアへの意欲がさらに高まってもらえること、また留学生への日本語支援の内容をより充実させることに少しでも役立ていただければ幸いです。(日本語支援G 胖取 記)

### 留学生からのたより

にほん りゅうがくせいのかつ  
日本の留学生生活

横浜国立大学大学院 支彤彤(中国)



今年4月に日本に来る前日はいらしていました。なぜかという、これからはどんな生活が来るのか、どんな人に出会うのか全部わからなかったからです。未知の道を興奮のもと、少しの怖がりを持って、踏み出しました。

私は大学の時、日本語が専攻なので、日本語を勉強すると共に、段々日本の文化に興味を持っていました。大学三年生の時に茶道の授業を受けました、「和敬清寂」という言葉を始めて聞きました。授業に伴って、この言葉の魅力もしみじみと感じました。そういえば、今年の夏休みにゼミの夏合宿で、海辺で花火をやりました。最後の時に、線香花火をやりました、静かに花火が燃え尽くすのをじっと見つめて、人生の短さと似たように感動しました。すっごく日本風で、俺の力を感じました。やはり、中国と違う文化を体験して、

日本をより深く理解するのは面白いことです。

これに似たような人生初経験が多いので、貴重な宝だと思えます。例えば、今年七月山下公園の花火大会。当日は小雨で、予定通り行われるかどうかはわからないでした。大学院の受験に悩んでいた私は、曇った天気と一緒に焦っていました。ようやく花火が小雨を避けて、棚雲の中で花のように綺麗に咲く時は泣きました。何か、「花火も小雨をおそれずに、私ならば、できます」って、癒されました。「日本の花火は、魅力的なものです」と、一人の先輩がそう言いました。

日本での生活は一言でいえば、「充実」です。私は何かを身につけるために来ました。何の法律基礎もない私は社会保障法を専攻にしました。やはり難しいです。最初の時には教科書の内容がさっぱり読み取れない、ゼミでのみんなの発表も聞き取れない、でも、春学期の勉強を通して、目に見える進歩がありました。知識をスポンジのように吸い取る楽しさは幸せです。

予定通り、夏休みはバイトを始めました、これからもバイトと勉強のバランスをよく取れるように、そして、初心を忘れずに、頑張っていくつもりです。

(原文のまま)

## 社会・工場見学

かわさき ecotown けんがく かいかん こうじょう  
川崎エコタウンの見学（エコタウン会館と2つの工場）

東京工業大学大学院 ディア・スパギョ（インドネシア）



9月11日（水）川崎エコタウンの見学に参加しました。まず川崎市のことについて説明してもらいそこで色々なことが分かりました。50年前の川崎市は今のようなきれいな町ではありませんでした。空気が汚れていて青空が中々見えなくなりました。ですが、工場と市民と政治の協力で今住心地がいい町になりました。

その後2つの工場に行きました。ナミキとCorelexという工場に行きました。ナミキはリサイクルの会社でした。毎日ナミキは産業廃棄物を何トンでももらいます。混ぜている状態の廃棄物を処理して売ってあげます。廃棄物の仕分けはだいたいまだ人力で行っています。混ぜているということは、例えば、電線です。電線にはプラスチックと金属が入っていて、それぞれべつべつにしないとリサイクルができません。電線の場合は人がカッターで電線の皮を切って、剥いて、それで電線の中にある銅線を取ります。電線の皮を専用の容器の中に集めて、銅線も別の専用の容器に入れました。金属として銅は結構高く売れるそうです。私の研究はプラスチックと関係があるから、少しプラスチックゴミの話をやろうと思います。PETのゴミだとラベルを外さないで機械でみじん切りにしました。PETはUniqloにとか売れるそうです。PETは洋服の原料のひとつですから。スチロールも結局リサイクルすることが可能です。まずスチロールのゴミは高い温度で溶かし、モールドに入れてスチロール板になりました。出来たスチロール板が持ち上げて見ると結構重かったです。ナミキはリサイクルのためにいっぱい水が必要ですから、雨水を集めるタンクを持っています。集まった水を使います。

Corelexという会社は古紙からトイレットペーパーを作る会社です。古紙といえはダンボール、牛乳パック、きつぷ、書類などです。こんな原料を使うからCorelexは他のメーカーよりトイレットペーパーを安く売れるわけです。現在Corelexで働いている人の中の3割ぐらゐが外国の人だそうです。その3割の中の9割ぐらゐはベトナムから来ていました。ですから、工場をちゃんとみればベトナム語で書いてある「お知らせ」があっちこちかけてあります。Corelexの見学が終了してお土産をもらいました。お土産は12個入っているトイレットペーパーのバックです。

川崎エコタウンの見学は非常に面白かったです。色々な新しいことを勉強し、めったに見られないものも見ましたから。いつもKKKの工場見学はありがたいです。（原文のまま）

### 第70回見学会の報告



3年前に見学した川崎エコタウンを再度訪問しました。参加者は17人、うち留学生は3人（インドネシア、アメリカ、中国）でした。朝9時にJR川崎駅に集合、非常に珍しいことですが、突然のキャンセルや遅刻がありませんでした。駅前からバスで約30分の所にある川崎エコタウン会館と2つの工場（株式会社ナミキ、コアレックス三栄）を訪問し、環境産業革命を進めている川崎市の取り組みの様子を聞き、見ることができました。（社会・工場見学G 廣越 記）

## 私の日本語支援

### RKK と子育て

湘南地区 岡田容子



私には三歳になる子どもがいます。彼がもうすぐ二歳になるという2018年の春、RKKに入会しました。子どもには身近なコミュニティ以外の世界があることを知ってほしいという思いからはじめた支援活動でした。2018年の初夏から東海大学の中国人留学生二人を担当しています。自宅でレポートや奨学金の面接の相談など受けていたのですが、年明けから私の入院など体調不良が続き、その後は支援が休止している状態です。今は子連れで活動する難しさを感じています。預け先がないのでこちらから出向いての支援は難しく、交流会などにもなかなか参加できません。来年からは子どもが幼稚園に通うようになるので、また状況は変わってくるのだらうと思います。生活の変化の中でRKKにどういった風に関わっていくかが私の今後の課題です。RKKの面白さは個人の支援以外にも会員間の交流の場があることだと思います。私は寮野に住んでいますが、調べた限り身近にそういう団体はありません。2018年の花見に参加した際は嬉しい出会いがありました。インドネシア人の留学生の奥さまとLINEの連絡先を交換し、帰国されるまで時々やり取りしていました。婦人科の病院にかかりたいという相談に英語で答えたり、誕生日おめでとうのメッセージを送ったり、支援の経験は少ない私ですが少しはお役に立てたかなと思っています。現代はGoogle翻訳で拙い英語力を補うこともできし、LINEで手軽にやり取りすることもできます。あとは「多様な人々と交流したい」という自分の意欲があれば、子どもがいてもどうにか活動に関わっていけるのかもしれない。留学生の皆さんには日本で自分の道を切り開いてほしいなと思いますが、私自身も皆さんとの交流の中でまだ知らない世界への扉を開いていけたらいいなと思っています。

### 私の日本語支援

東地区 武田拓也



私はRKKに入会して10年近くになります。入会の動機は二つありまして、一つは学生時代および仕事上でも英語に多々接している中で日本語にも相応に興味があり、海外からの留学生に対する日本語支援は退職後も続けられるかなと思ったこと。二つ目は、自分の海外駐在時代に現地の方にお世話になった経験上、今度は反対の立場として日本で勉強している留学生の方に微力ながらお手伝いができるかなと考えたことです。

今までの活動は、家庭の事情等で途中数年間は中止していたので、実質4年程度の期間となります。その中で、日本語支援をさせていただいた海外留学生は計4人です。その4人について担当した順番に簡単に触れますと、

#### 1. 30代中国人男性（社会人）

日本で就職したいという方で、履歴書の書き方や内容について助言をしたりしましたが、東日本大震災が発生したあと中国に帰られました。

#### 2. 40歳前後のインド人男性（社会人）

学生ではなく研究者の方（自然環境などに関して世界的なネットワークをベースに研究・活動をされていた）で、話し言葉は大体分かるのですが、漢字の勉強のため、新聞記事を使ってレッスンを行っていました。

#### 3. 20歳のベトナム人男性（日本語学校生）

新聞配達をしながら日本語学校に通い、日本の4年生大学入学を希望していました。N1に合格したのですが、日本語の総合的能力はまだまだという感じで、読み書きの指導よりも発音の矯正に苦労しました。

#### 4. 24歳の中国人女性大学院生

日本語能力がかなり高いので、コミュニケーションはほとんど問題ありません。現在レッスン継続中ですが、特にテーマを設けず東横線沿線の駅付近を歩きながら、あるいは喫茶店で気楽に会話をしています。

今後も留学生の要望に応じた日本語支援活動を続けていきたいと思っています。

## グループ活動の紹介

— 中国語学習グループ —

### RKK 中国語学習講座の新任講師として

横浜国立大学大学院 齋晏蔚（中国）



大家好！私は RKK 中国語学習講座の新しい講師になりさせていただいた齋晏蔚と申します。中国東北のハルビンから来ていて、今横浜国立大学の環境情報学院に博士前期課程に在籍しています。

時の流れが速いものだといつもこう思っています。去年 11 月の日本語スピーチを契機に今年の四月から中国語講座の講師になり始め、もう半年が経ちました。こんな銀河系のような数多くの人の中で、人と人の出会い、知ることがまるで奇跡だと思っています。日本に来て、RKK の皆さんと出会って、また現在中国語講師になることはとても嬉しくて、この縁を大事にしたいと伴に、自分の能力を向上しなければならぬと意識しています。

以前日本語を教えることがあったけれども、中国語を教えるのは初めてです。最初は緊張で、声がちよっと震えたが、皆さんの優しい笑顔のおかげで、緊張を克服しました。

授業中、皆さんに中国語を教えると同時に、私も日本語を勉強になりました。毎週の週末で皆さんと一緒に授業を行うことがとても楽しみにしています。しかし、現在の私にとっては、どうやって分かりやすく皆さんに中国語を教えていくのはまだまだ一層頑張りたいと思います。これからも皆さんとこの貴重な縁を続けていきたいなので、どうぞよろしく願っています。（原文のまま）

— 文化・ファミリー交流グループ —

### 地域交流特別絵画展開かれる



9月18日から23日まで戸塚区美術協会主催による「地域交流特別絵画展第120回絵画展」が戸塚区民文化センターにおいて開催されました。

今年は戸塚区美術協会創立70周年にあたり、油絵、水彩、アクリル、パステルなどで描かれた総数116点の多彩で個性豊かな作品が展示されておりました。

会員の大久保さんも油彩「幽谷の碧い薔薇」を出展され、RKK会員初め皆さんも興味深く眺めておられました。（杉田 記）

## 会員募集中

留学生と一緒に国際交流を楽しみましょう。RKK では下記のプログラムを用意していますので、皆様のご希望に合わせて、留学生と様々な形で交流出来ます。

- ・日本語学習支援（留学生と一対一で日本語の勉強、会話をします。）
- ・文化・ファミリー交流（フェスティバルを開催し、異文化交流を深めます。）
- ・社会・工場見学（工場見学、名所のハイキングに行きます。）
- ・中国語学習（留学生が先生となって中国語を勉強します。）

RKK の活動に興味をお持ちの方は右コードを読み取るか、で検索して RKK のホームページにアクセスしてください。

会報や最近の行事案内などをご覧になれます。入会フォームはホームページ「入会案内」から入手できます。



RKK ホームページ↓ をお訪ねください



RKK NPO法人 **留学生と語り合う会**  
Relationship and Kindness are the Kings of peace

[トップ](#)

[RKK紹介](#)

[イベント](#)

[広報誌](#)

[入会案内](#)

[留学生支援](#)

[For Students](#)

ホームページは随時更新しています。新設の「会員のひろば」は、**広報紙**のページにあります。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など趣味報交換にも利用できます。掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス：<mailto:sugita1526@ybh.ne.jp>

掲載ホームページ：<http://homepage3.nifty.com/rkk/>

上記のURLをクリック、または巻末のQRコードをスキャンしてください。

広報委員会では皆様からの「会員のひろば」への寄稿をお待ちしております。

広報委員会

### おもな活動 (2019/8 から 2019/10 まで)

#### 理事会

◇8/23 午後、サポートセンターR708にて、2019年度第1回(臨時)理事会が開かれ、RKK創立20周年記念事業結果の取りまとめ、各活動グループ、委員会担当理事からの活動報告および本年度の各種施策についての意見交換を実施。

#### スタッフミーティング

◇9/23 午後、サポートセンターR711にて22人のスタッフの参加のもと、2019年度第2回スタッフミーティングが行われ、創立20周年記念プロジェクトからの報告、活動グループ、地区交流会、委員会からのC&C(報告・連絡そして相談)が実施された。ディスカッションタイムは「RKKフェスティバル2019について」のテーマのもと、計画概要の説明、意見交換など情報の共有化を図った。

#### 活動グループ

- ◇日本語支援G: 10/6を開講日として全5回の日本語の教え方講習会を実施中。日本語スピーチ大会準備。
- ◇文化・ファミリー交流G: 9/6に横国大IMP留学生の歓迎会。RKK文化祭準備。
- ◇中国語学習G: 9/29から、12人の受講者で10回コースを実施中。
- ◇社会・工場見学G: 第70回見学イベントとして、9/11川崎エコタウンを見学。17人が参加。

#### 地区交流会

- ◇東地区: 9/15の地区交流会には留学生を含め9人が参加。次回は12/8を予定。
- ◇西地区: 7/28の交流会には14人が参加。次回は10/27を予定。12/1の戸塚お結び広場出展準備。
- ◇南地区: 9/8に10人が参加して地区交流会を実施。次回は1/12に新年会を企画。
- ◇北地区: 10/19の交流会には留学生3人を含め15人が中華料理店で会食。次回は1/18を予定。
- ◇中央地区: 9/1にカナファンにて交流会を実施し7人が参加。次回は12/8を予定。
- ◇湘南地区: 9/10に交流会を実施、10人参加。次回は12/7を予定。11/24平塚市民活動センター祭、12/21藤沢国際交流Festivalに出展予定

#### 委員会

- ◇会員委員会: 9/23 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会: RKKニュース77号の編集。RKKホームページの刷新、PR用フライヤーの検討。
- ◇就活情報支援委員会: 月2回の就活情報メール配信。就活サロンの定期開催。
- ◇企画委員会: 夢ファンド寄付推進。会議室予約システム対応。名簿管理。
- ◇会計委員会: 収支決算・講習会受講料の振込管理。
- ◇事務室: 理事会、スタッフミーティング開催準備

### よこはま夢ファンドのご案内



横浜市にはボランティア団体の活動支援を目的とした「よこはま夢ファンド」という制度があるをご存知でしょうか。本ファンドへの寄付を通じてRKKの活動を支援して頂けます。ご協力をお願いします

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/tishin/shiminkatsudou/fund/>



## トピックス

よこはまこくだい りゆうがくせい けんきゆうはつびようかい かんそうかい さんか  
横浜国大IMP留学生の研究発表会、歓送会に参加



2年間の留学を終えて帰国するIMP12期の留学生9人の研究発表及び懇親会が開催されRKKより関係者7人が参加しました。主要研究テーマは環境、土木、建築工学の各方面にわたり、彼らが帰国後にはその研究成果を生かして母国の発展に尽くすものと期待されます。歓送会では研究生生活に加え日本滞在中の経験、楽しさなど話題がつかまませんでした。(徳屋 記)

## 地区からの便り

### 留学生とともに会食・懇談



10月19日(土)北地区では本年度第2回目の交流会をもちました。今回は留学生3名をご招待し会員12人が出席して、中華料理店で会食をしながら懇談をしました。留学生は中国出身の国大生1人、台湾出身のフェリス大生2人でした。円卓で2グループにわかれ、親しく懇談した後、自己紹介や近況報告などをしました。イギリスに行った時の話、遠いマラウイの留学生から届いたキーホルダーの話、留学生とベナン島を旅する話、日本伝統文化を理解するために教養講座で学んでいる話など国際交流に関する話題がたくさん出ました。その中でもひとときわづらひいたのは中国語を学んでいる方の中国語での挨拶でした。留学生も理解し、言語の持つ力を感じました。後半の会員だけの話し合いでは北地区の日本語支援生徒の情報を共有して今後は皆で支援して行こうということになりました。次回は2020年1月18日、旭区活動センター「みなくる」で行う予定です。

(北地区 松井 記)

## 就活情報支援委員会からのお知らせ

### 2つの扉 —就活現場に入室—

1つ目の扉は就活Webサイトの扉です。日本での就職を考える留学生の就活は大学キャリアセンターのプログラムの受講から始まりますが、社会で直接行動する際は就活サイトへの登録がスタートです。各サイトがそれぞれ得意の支援領域を持つ中で、総合型が一番の人気です。リクナビ、マイナビのビッグ2のほかキャリアタス就活、あさがくナビなど多数あります。学生は複数のサイトに登録することが多く、7サイトにも加入・活動して就活に成功したとの話も聞きます。



2つ目はRKKの扉です。留学生とチューターとの語り合いの場において、留学生は入学、RKK入会時から卒業、就職までの数年の長期に亘って就活の相談ができます。就活サイトを凌ぐ親身の個人対応、キャリアアドバイザーによるコメント入手、ハローワーク、JASSO、大学就活プロジェクトなど主に公共的事業体からの情報が得られます。この扉を運営する当委員会ではチューターへの手助けをしていますのでご利用ください。(就活情報支援委員会 岩瀬 記)

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

田中和生(港北区)、波多野雪菜(神奈川区)、能美憲治(旭区)

(敬称略、入会順)

## 留学生の皆さんへ／To International Students

Let's join one-to-one Japanese language teaching program by volunteers.

- ・ 日常会話 (Daily Conversation)
- ・ ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・ 卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Theses & Reports)
- ・ 新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・ 日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・ 就職活動 (Job Hunting・Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/ laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact: 津田(Tsuda) e-mail [sakura\\_tsudakei@ybb.ne.jp](mailto:sakura_tsudakei@ybb.ne.jp)

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan the right code for getting the application form.



## Come and Enjoy RKK FESTIVAL 2019

RKK will hold RKK Festival on 4th/Nov. (Holiday) at Kanagawa Kenmin Center. The morning session is 15th Japanese Speech Contest by international students. Afternoon session is 7th Culture Exchange consisting of

A) Exhibition of painting, photo, calligraphy, senryu

B) Workshop of traditional Japanese culture like painting, shogi, calligraphy, tea ceremony, etc.

We welcome your application of photo, painting and home country introduction.

Let's enjoy the Japanese Culture Festival together. (Admission free)



## RKK フェスティバルを楽しもう

芸術の秋を迎え RKK は恒例の文化祭を 11 月 4 日 (休日)、かながわ県民センターで開催します。留学生会員、日本人会員との貴重な文化交流の場であり、皆様ふるってご参加ください。午前には第 15 回日本語スピーチ大会が行われ各国からの留学生が日本語で発表します。留学生の視点を通して新しい日本を発見できることでしょう。午後には第 7 回文化祭が開催されます。絵画、写真、書道など会員の力作を展示します。

囲碁、将棋、茶道、書道、似顔絵、伝統遊戯、風呂敷包み、生花などのワークショップを予定しています。皆様の作品出展、各ワークショップへの積極的な参加をお願いいたします。

留学生をお誘いあわせの上全員参加で楽しいフェスティバルにしましょう。(入場無料)

## NPO 法人 留学生と語り合う会

連絡先: 〒245-0008 横浜市区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール: [rkk1025office@yahoo.co.jp](mailto:rkk1025office@yahoo.co.jp) Tel & Fax: 045-813-8327

ホームページ: <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集: RKK 広報委員会 秋号担当 村田威雄 Oct. 31, 2019



無断転載をお断りします。